

校長室から

学校教育目標

　　「知・徳・体、調和のとれた生徒の育成」

　　　　　　　～進取的な努力をする人材の育成～

令和4年11月11日　第32号

大渋滞

　　今日は、電気配線器具の日。コンセントの差込口が「11」に似ているからとか、ポッキ－の日で、その昔真夜中の０時にグランドホ－ルに市内の生徒指導関係の先生と協助員さんたちと集まって、などなどお話ししようと思っていたのですが、やめます。

　昨日の帰りのことです。

　いつもの帰り道では、あまり使わない国道２６号線(通称「にこく」)を使って帰路につきました。

　車は、順調に流れて堺市内へ。通称「たた゜高速」に差し掛かった瞬間、前の車がハザ－ドランプ。慌てて車を止めて、同じようにハザ－ドランプをつけると後ろの車も慌てて止まりました。

　そして、車は進めなくなりました。告白しますが、私は列に並ぶのが嫌いです。人気のラ－メン屋があると聞いて何度か行ったことがありますが、ずらりとお客さんが並んでいる景色を見て「帰ってカップラ－メンでいいや」と割り切れるぐらい、待つのが嫌です。俗に言う「イラチ」なんです。

　車は、３０分たっても１センチも進みません。イライラが募って来た時、あの時のことを思い出したのです。

1995年１月１７日。阪神淡路大震災の日、岸和田市内はありがたいことに通常授業ができました。その帰りのことです。神戸に向かう大量の車に帰宅を阻まれました。その日家に着いたのは、深夜２時。８時間の運転。昨日は事故があったようですが、あの時のような惨事ではない。そう思うと合計３時間の運転もどこかほっとしたものが残ったのでした。